

令和4年2月1日

報道機関 各位

令和3年度文部科学省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」  
全国シンポジウム（オンライン）のご案内  
人材育成から人材輩出へ  
～ローカルESG、その地域らしい地方創生に向け、地方大学が果たすべき役割とは？～

平素より本学の運営について多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和3年度 文部科学省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（COC+R）」に関する全国シンポジウムを下記のとおり開催いたしますので、是非ご取材いただきたくご案内申し上げます。

企業等を中心に「ESG：Environment Social Governance」志向（思考）を持つ人材育成や経営戦略を通じた新たな社会価値創出の取り組みが本格化し始め、その流れは地域・社会へと展開されることが期待されています。

その期待に対し大学としてどうこたえるのか、このシンポジウムでは「人材育成から人材輩出へ～ローカルESG、その地域らしい地方創生に向け、地方大学が果たすべき役割とは？～」をテーマに、2日間にわたり議論します。

（参考：文部科学省Webサイト「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」について）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/chihososei/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/chihososei/index.html)

記

【日時】 第1部 令和4年2月12日（土） 13:30～17:30

第2部 令和4年2月13日（日） 9:00～12:00

【開催方法】 オンライン

【次第】 別紙①プログラム内容をご参照ください

【登壇者】 別紙②登壇者プロフィールをご参照ください

【申込】 取材をご希望の方は、令和4年2月8日までに右のQRコード、  
または下記リンクからお申し込み下さい。別途当日のURL等ご案内します。



取材申込用リンク (<https://forms.gle/UefNatS5tCtyMXsq8>)

【お問い合わせ】 信州大学COC+R事務局 [engine@shinshu-u.ac.jp](mailto:engine@shinshu-u.ac.jp) Tel:0263-37-3348

富山大学COC+R事務局 [chiiki@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:chiiki@adm.u-toyama.ac.jp)

【別紙①:プログラム内容】

第1部

13:30	開会あいさつ 富山大学長 齋藤 滋 (さいとう しげる) 氏
13:40	来賓あいさつ 富山県知事 新田 八朗 (にった はちろう) 様
13:50	あいさつ 文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官 (兼) 地域学習推進課長 根本 幸枝 (ねもと こうえ) 氏
14:00	テーマ説明 COC+R統括コーディネータ 信州大学特任教授 矢野 俊介 (やの しゅんすけ)
14:10	基調講演 「ローカルESG,これまでの延長戦ではない産官学金の連携による、その地域らしい地方創生に向け、地方大学が果たすべき役割とは？」 株式会社ニューラル代表取締役CEO 夫馬 賢治 (ふま けんじ) 氏
15:00	休憩
15:20	ワークショップ (4つのワークショップを同時進行) 「これからの地方大学と地域の連携の在り方、そして地方大学が輩出すべき人材とは？」 ～カーボンニュートラル 大学等コアリションの取り組みを題材に～ 1 <u>ゼロカーボン・キャンパス (地域で大学が先駆ける)</u> 千葉商科大学 准教授 浜島直子 (はしまま なおこ) 氏 信州大学 教授 林靖人 (はやし やすと) 信州大学 講師 勝亦 達夫 (かつまた たつお) ファシリテーター 2 <u>地域ゼロカーボン (地域社会のトランジションに大学が関わる)</u> 信州大学 准教授 茅野恒秀 (ちの つねひで) 氏 岡山県立大学 教授 向山 徹 (むこうやま とおる) 信州大学 特任教授 中嶋聞多 (なかじま もんた) ファシリテーター 3 <u>イノベーション (テクノロジーは大学が生み出す)</u> 北陸先端科学技術大学院大学 教授 永井由佳里 (ながい ゆかり) 氏 山梨県立大学 准教授 杉山 歩 (すぎやま あゆむ) 信州大学 特任教授 山本美樹夫 (やまもと みきお) ファシリテーター 4 <u>人材育成 (地域ならではの特色をもった人材を育成する)</u> 宮城大学 教授 小沢晴司 (おざわ せいじ) 氏 徳島大学 教授 山中英生 (やまなか ひでお) 信州大学特任教授 末富雅之 (すえとみ まさゆき) ファシリテーター
16:40	休憩
16:55	ワークショップ内容の共有
17:15	ワークショップ講評 富山大学 理事 武山 良三 (たけやま りょうぞう)
17:20	閉会あいさつ 信州大学 学長 中村 宗一郎 (なかむら そういちろう)
17:30	閉会

第2部

9:00	ワークショップ説明 COC+R統括コーディネータ 信州大学 特任教授 矢野 俊介 (やの しゅんすけ)
9:10	ワークショップ 「地方創生人材教育プログラム」と「地方大学が輩出すべき人材の地元就職」の因果関係とは？ ～今後のプログラム構築に関する論点、因果モデル構築に向けた検証ポイントの明示～ 山梨県立大学 准教授 杉山 歩 (すぎやま あゆむ)、事業担当教員または事業コーディネータ 岡山県立大学 教授末岡 浩治 (すえおか こうじ)、事業担当教員または事業コーディネータ 徳島大学 山中英生 教授 (やまなか ひでお)、事業担当教員または事業コーディネータ 信州大学 林 靖人 教授 (はやし やすと)、事業担当教員または事業コーディネータ ファシリテーター 信州大学 特任教授 山本美樹夫 (やまもと みきお)
11:40	講評・閉会あいさつ 信州大学 学長 中村 宗一郎 (なかむら そういちろう)
12:00	閉会

【別紙②: 登壇者プロフィール】

■ 基調講演

「ローカルESG、これまでの延長線ではない産官学金の連携による、その地域らしい地方創生に向け、地方大学が果たすべき役割とは？」

株式会社ニューラル 代表取締役 夫馬賢治氏



略歴: 東京大学教養学部(国際関係論専攻)卒、ハーバード大学大学院修士(サステナビリティ専攻)課程修了、サンダーバード・グローバル経営大学院MBA修了。2013年にサステナビリティ経営・ESG投資コンサルティング会社を創業し現職。農林水産省審議会専門委員、厚生労働省と環境省の委員会委員。Jリーグ特任理事。ニュースサイトSustainable Japan編集長、「NEWS PICKS NewSchool-ESG人材養成」コースプロジェクトリーダー。著書に『超入門カーボンニュートラル』『データでわかる2030年 地球のすがた』『ESG思考』など。

■ ワークショップ

① ゼロカーボン・キャンパス(地域で大学が先駆ける)

千葉商科大学 准教授 浜島直子 氏



浜島直子氏

略歴: 2003年環境省入省。地球温暖化対策のための税の制度設計、自治体の温暖化対策のご支援、公害等による健康被害者への医療費支払制度の運営、東京電力福島第一原発事故後の敷地外除染業務等に携わる。2010～2012年に米国コーネル大学院留学、国際炭素税の制度案等を研究。2020年から千葉商科大学に出向し、環境・エネルギー関係の講義を担当。主な研究分野は、炭素税とベーシックインカム、環境教育。

② 地域ゼロカーボン(地域社会のトランジションに大学が関わる)

信州大学 学術研究院 人文科学系 准教授 茅野恒秀 氏



茅野恒秀氏

略歴: 博士(政策科学)。専門は環境社会学、社会計画論、サステナビリティ学。(財)日本自然保護協会勤務、岩手県立大学准教授を経て2014年より現職。著書に『環境政策と環境運動の社会学』(2014年、ハーベスト社)、『環境問題の社会学』(共編著、2020年、東信堂)。長野県地球温暖化対策専門委員として県ゼロカーボン戦略の策定に、松本市をはじめ県内外自治体の再エネ導入戦略や地方公共団体実行計画の策定に関わる。

③ イノベーション(テクノロジーは大学が生み出す)

北陸先端科学技術大学院大学教授(理事・副学長) 永井由佳里 氏



永井由佳里氏

略歴: 武蔵野美術大学卒、同大学院修士課程修了。千葉大学自然科学研究科博士後期課程を修了し博士(学術)取得、University of Technology, Sydney からPhD. (Computing Science) 授与2009年。2004年に北陸先端科学技術大学院大学に着任(2011年教授昇任)、ライフスタイルデザイン研究センター長、知識科学研究科長、国際イノベーションデザイン研究センター長等を歴任し、2019年より理事・副学長。専門はデザイン学。International Journal of Design Creativity and Innovation (UK) 編集長、Advisory Board of the Design Society(UK)、日本創造学会理事長、日本学術会議連携会員。学会理事長、日本学術会議連携会員。

④ 人材育成(地域ならではの特色をもった人材を育成する)

宮城大学 事業構想学群 教授 小沢晴司 氏



小沢晴司氏

略歴: 北海道大学農学部卒業後、1986年環境省採用。国内外の国立公園等の現地で地域振興と環境保全との調整に当たる。2009年～2012年滋賀県立大学在職時、同校の環境人材育成プログラムモデル校としてのプログラム策定を担当。2012年～2020年まで福島の原子力被災地復興のため、除染やリスクコミュニケーション活動に携わる。2020年夏から現職。地域環境政策、行政評価、地域フィールドワーク等講義を担当。趣味はきのこと観察や山スキー。



Centers of Community —  
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization  
through New Human Resources Education Programs



令和3年度 大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 (COC+R) 全国シンポジウム

# 人材育成から 人材輩出へ

2022.2.12 SAT - 2.13 SUN IN 富山

完全オンライン配信

ローカル ESG、  
その地域らしい地方創生に向け、  
地方大学が果たすべき役割とは？

第一部

日程：2022/2/12 (土) 13:30~17:30 (開場 12:45) 会場：富山国際会議場  
基調講演：「ローカル ESG、これまでの延長線ではない産官学金の連携による、  
その地域らしい地方創生に向け、地方大学が果たすべき役割とは？」  
ワークショップ：「これからの地方大学と地域の連携の在り方、そして地方大学が輩出すべき人材とは？」

第二部

日程：2022/2/13 (日) 9:00~12:00 (開場 8:30) 会場：富山大学 黒田講堂  
ワークショップ：「地方創生人材教育プログラム」と「地方大学が輩出すべき人材の地元就職」の因果関係とは？  
~今後のプログラム構築に関する論点、因果モデル構築に向けた検証ポイントの明示~

主催

文部科学省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 (COC+R)」 事業責任大学：信州大学 (幹事校)、山梨県立大学、岡山県立大学、徳島大学

## 参加申し込み

下記の URL または、右の QR コードより  
事前登録をお願いします。

▼シンポジウム情報ページ  
<https://coc-r.jp/information/r3-sympo/>

シンポジウム開催会場(富山県)での参加を可能としておりましたが、新型コロナウイルス感染症に対する  
対応措置として、参加は全てオンライン参加に変更いたしました。



# 人材育成から 人材輩出へ

2022.2.12 SAT - 2.13 SUN IN 富山

完全オンライン配信

## ローカル ESG、その地域らしい地方創生に向け、 地方大学が果たすべき役割とは？

### 第一部

【開催日時】 2022年2月12日（土）13:30～17:30  
【会場】 富山国際会議場 メインホール・ホワイエ  
【参加対象】 大学等教育機関関係者、地域金融機関、地域企業経営者、  
大学生 / 高校生、地域行政機関等 本テーマに関心のある皆様

【テーマ】 **人材育成から人材輩出へ**  
～ローカル ESG、その地域らしい地方創生に向け、  
地方大学が果たすべき役割とは？～

#### 【プログラム】

- 12:45 開場
- 13:30 開会あいさつ 富山大学長 齋藤 滋
- 13:40 来賓あいさつ 富山県知事 新田 八朗 様
- 13:50 あいさつ 文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官  
(兼) 地域学習推進課長 根本 幸枝 氏
- 14:00 テーマ説明 COC+R 統括コーディネータ  
信州大学特任教授 矢野 俊介
- 14:10 **基調講演** 株式会社ニューラル代表取締役 CEO 夫馬 賢治 氏  
「ローカル ESG、  
これまでの延長線ではない産官学金の連携による、  
その地域らしい地方創生に向け、  
地方大学が果たすべき役割とは？」
- 15:00 (休憩)
- 15:20 **ワークショップ** 4つの会場に分かれて開催  
「これからの地方大学と地域の連携の在り方、  
そして地方大学が輩出すべき人材とは？」  
～カーボンニュートラル 大学等コアリションの取組を題材に～
  - ①ゼロカーボン・キャンパス（地域で大学が先駆ける）  
千葉商科大学 准教授 浜島直子 氏  
信州大学 学術研究院 総合人間科学系 教授 林 靖人
  - ②地域ゼロカーボン（地域社会のトランジションに大学が関わる）  
信州大学 学術研究院 人文科学系 准教授 茅野恒秀 氏  
岡山県立大学 デザイン学部 教授 向山 徹
  - ③イノベーション（テクノロジーは大学が生み出す）  
北陸先端科学技術大学院大学 教授（理事・副学長） 永井由佳里 氏  
山梨県立大学 国際政策学部 准教授 杉山 歩
  - ④人材育成（地域ならではの特色をもった人材を育成する）  
宮城大学 事業構想学群 教授 小沢晴司 氏  
徳島大学 教授（副理事（地域連携担当）） 山中 英生
- 16:40 (休憩)
- 16:55 ワークショップ内容の共有
- 17:15 ワークショップ講評 富山大学 理事 武山 良三
- 17:20 開会あいさつ 信州大学長 中村 宗一郎
- 17:30 閉会

### 第二部

【開催日時】 2022年2月13日（日）9:00～12:00  
【会場】 富山大学 黒田講堂

#### 【プログラム】

- 8:30 開場
- 9:00 ワークショップ説明 COC+R 統括コーディネータ  
信州大学特任教授 矢野 俊介
- 9:10 **ワークショップ**  
「地方創生人材教育プログラム」と  
「地方大学が輩出すべき人材の地元就職」の因果関係とは？  
～今後のプログラム構築に関する論点、因果モデル構築に向けた検証ポイントの明示～  
山梨県立大学 国際政策学部 准教授 杉山 歩  
岡山県立大学 教授（副学長） 末岡 浩治  
徳島大学 教授（副理事（地域連携担当）） 山中 英生  
信州大学 教授（副学長） 林 靖人  
（ファシリテーター 信州大学 特任教授 山本 美樹夫）
- 11:40 講評・開会あいさつ
- 12:00 閉会

### 第一部 登壇者紹介

#### 基調講演

**夫馬 賢治 氏** 株式会社ニューラル代表取締役 CEO

東京大学教養学部（国際関係論専攻）卒、ハーバード大学大学院修士（サステナビリティ専攻）課程修了、サンダーバード・グローバル経営大学院 MBA 修了。2013年にサステナビリティ経営・ESG 投資コンサルティング会社を創業し現職。ニュースサイト Sustainable Japan 編集長、「NEWS PICKS NewSchool-ESG 人材養成」コースプロジェクトリーダー。著書に『超入門カーボンニュートラル』『データでわかる2030年地球のすがた』『ESG思考』など。

#### ワークショップ

**浜島 直子 氏** 千葉商科大学 基盤教育機構 准教授

2003年環境省入省。地球温暖化対策のための税の制度設計、自治体の温暖化対策のご支援、公害等による健康被害者への医療費支払制度の運営、東京電力福島第一原発事故後の敷地外除染業務等に携わる。主な研究分野は、炭素税とベーシックインカム、環境教育。

**茅野 恒秀 氏** 信州大学 学術研究院人文科学系 准教授

（財）日本自然保護協会勤務、岩手県立大学准教授を経て2014年より現職。著書に『環境問題の社会学』（共編著、2020年、東信堂）など。長野県地球温暖化対策専門委員として県ゼロカーボン戦略の策定に関わる。専門は環境社会学、社会計画論、サステナビリティ学。

**永井 由佳里 氏** 北陸先端科学技術大学院大学 理事（研究・国際担当）・副学長

2004年に北陸先端科学技術大学院大学に着任（2011年教授昇任）、ライフスタイルデザイン研究センター長、知識科学研究科長、国際イノベーションデザイン研究センター長等を歴任し、2019年より理事・副学長。専門はデザイン学。日本創造学会理事長、日本学術会議連携会員。

**小沢 晴司 氏** 宮城大学 事業構想学群 教授

北海道大学農学部卒業後、環境省入省。国内外の国立公園等の地域振興と環境保全の調整に従事。2009-12年滋賀県立大学にて環境人材育成プログラム策定を担当。2012-20年まで福島原子力被災地復興のため除染やリスクコミュニケーション活動に携わる。2020年夏から現職。

### 申し込み方法

**事前登録のお願い** シンポジウムの参加をご希望する方は会員登録をお願いいたします。

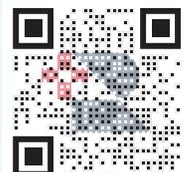
会員登録いただくと、事業レポートのダウンロードや、イベント情報などをメールマガジンにて配信いたします。申し込まれた方には開催前日（2月11日）までに登録いただいたメールアドレス宛に、オンラインアクセス方法に関するご案内を差し上げます。

シンポジウム申し込みは、coc-r.jp のホームページからお願いします。

アドレス：<https://coc-r.jp/information/r3-sympo/>

シンポジウム開催会場（富山県）での参加を可能としておりましたが、新型コロナウイルス感染症に対する対応措置として、参加は全てオンライン参加に変更いたしました。

シンポジウム申し込み▶▶▶



Centers of Community —  
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization  
through New Human Resources Education Programs

問い合わせ（幹事校事務局）

信州大学 キャリア教育・サポートセンター  
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1  
✉ [info@coc-r.jp](mailto:info@coc-r.jp) [web https://coc-r.jp/](https://coc-r.jp/)